

知ってほしい

福島原発事故

被災地の今

震災13年目の現地取材して

東日本大震災と同時に起きた福島原発事故。

13年目を迎えた被災地は人影少なく、

なお復興からは遠い風景です。

浜通り・相馬市出身のローカルジャーナリストは今も、

解除後の村や帰還困難な

地域の住民を取材して歩き、

その声を静岡の人々に届けてくれます。

2023 5/27 土

10:00~11:30 (受付 9:45~)
浜松市防災学習センター 3F 講座室

講師

寺島 英弥 氏

ローカルジャーナリスト・
尚絅学院大学客員教授

福島県相馬市生まれ。河北新報社編集委員時代の2011年以来、東日本大震災、福島第一原発事故の被災地を歩き、当事者たちの声を伝えてきた。

著書に『福島第1原発事故7年 避難指示解除後を生きる 古里なお遠く、心はまだ癒えず』『被災地のジャーナリズム 東日本大震災10年「寄り添う」の意味を求めて』(以上、明石書店)、『東日本大震災 遺族たちの終わらぬ旅／亡きわが子よ 悲傷もまた愛』(荒蝦夷)など。



定員 **40名**

応募多数時、
抽選

参加費無料

形式 会場受講

対象 どなたでも

申込

● ホームページ上の申込フォーム

右記のコードより

※締切後、抽選結果をメールにてお知らせします。

● 往復はがき郵送 [5月19日(金)必着]

以下内容を往復はがきにご記入の上、当センターまでご郵送ください。

※締切後、抽選結果をはがきにてお知らせします。



〒430-0941 浜松市中区山下町192番地

①講座名 ②参加者氏名 ③年代 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号

締切

2023年5月19日(金)

浜松市防災学習センター公式SNS

講座やイベントの最新情報を配信します!

ぜひ「友だち登録」や「フォロー」をしてくださいね♪

